

元伯宗旦の研究

中村 静子 著

A5判・430頁／定価:本体 7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1760-1

2014年7月 刊行

「利休の孫」として知られる元伯宗旦——その生涯は病気がちで不分明な部分が多く、残された史料からは全体的な姿を解明することは難しい。徳川幕府体制が確立し、大名茶を全盛を迎えた時代には、誰に仕えることなく自身の茶の湯を追求し続けた宗旦の姿を、多数の史料を丁寧に読み解くことで複眼的に究明する。

目次

第一章 元伯宗旦研究序説

一、宗旦をめぐる従来の研究

二、基礎的な諸資料

三、宗旦活躍時の時代背景

第二章 宗旦の生涯をめぐる諸問題

一、宗旦の祖父をめぐる諸問題

二、道安と少庵との関係

三、宗旦の病氣と経済状態

第三章 茶の湯者宗旦形成にかかわる要因

一、宗旦と禅との関係

二、宗旦の茶の湯の土台となる利休の茶の湯

第四章 宗旦の茶の諸相

一、人的交流に見られる宗旦の茶の湯

二、宗旦の茶室

三、茶会記にみられる茶の諸相

四、侘びの道具 一閑張

第五章 宗旦の侘び茶

一、侘びについて

二、『本阿弥行状記』の隠逸の茶人に対する批判

三、「心の文」にみる芸道の理想の姿

四、中世芸道者の求めた風体

五、宗旦の求めた冷え枯れの風体

六、名人宗旦

七、宗旦の「軽み」

第六章 宗旦の後継者たち

一、宗旦の子供たち 三千家成立と宗旦の役割

二、宗旦の弟子衆



なかむら・しずこ…東京都世田谷区に生まれる。

2012年宝塚造形芸術大学(現宝塚大学)大学院博士課程修了。芸術学博士。裏千家正教授。専攻 伝統芸術。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

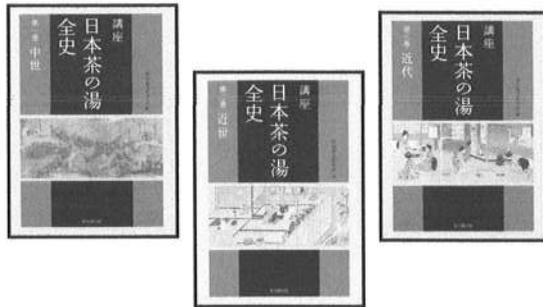
注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)		
冊数	冊	元伯宗旦の研究	本体 7,800 円(税別)	ISBN978-4-7842-1760-1		
お名前	tel			書店番線印		
	e-mail					
ご住所	〒					
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)					

講座 日本茶の湯全史 [全3巻]

茶の湯文化学会編

茶の湯文化学会の創立20周年記念出版。本講座は、日本文化史の中に位置づけられた茶の湯の展開を、茶の湯文化学会が総力をあげて俯瞰する。時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論からなりたち、さらに各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示することで、初学者にはもちろん、さらに深く茶の湯研究を志す人にとってのハンドブック的な要素ももたせる。最新の研究成果をふまえ茶の湯を通覧する、まったく新しい概説書。

- 第1巻(中世) ▶46判・328頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1696-3
- 第2巻(近世) ▶46判・370頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1697-0
- 第3巻(近代) ▶46判・336頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1698-7



藤村庸軒流茶書 頭岑院本(一)

白奇頭成著

京都の紫雲くろ谷金戒光明寺の塔頭である頭岑院には多くの庸軒流茶書が伝えられている。本書には、その中から息子の正員が庸軒の茶話を筆記したと思われる『藤村庸軒茶談』のほか、観山によって定められた庸軒流茶道の基本となる稽古次第を中心に収める。

▶A5判・528頁/本体10,500円(税別) ISBN978-4-7842-1624-6

※古田織部茶書 [全2巻]

市野千鶴子校訂

茶湯古典叢書②③

利休の高弟・七哲の一人で織部流茶道の開祖である古田織部の茶道秘書を集成。一巻には「宗甫公古織へ御尋書」及び「古田織部正殿開書」を収め、二巻には「織部百ヶ条」「織部茶会記」「教奇道次第」「古織茶湯記」「古織伝」「茶之湯六宗伝記三」の6篇を収録。

▶A5判・平均400頁/本体①6,200円(税別) ②8,200円(税別)

西鶴の文芸と茶の湯

石塚修著

浮世草子作家の嚆矢であり江戸時代前期を代表する作家の一人、井原西鶴(1642-1693)。その文芸作品に、いかに当時の茶の湯文化が反映されていたのか、西鶴が浮世草子作家になる以前の俳諧師時代、さらに『好色一代男』から遺稿集にいたるまでの浮世草子作品をとりあげ、その影響関係を検証する。

▶A5判・316頁/本体6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1730-4

片桐石州茶書

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書⑦

本書は、流布本を整理し、その基本に位置すると考えられる[怡溪系]、多くの系統の中で比較的内容が豊富な[醉翁系]、そして千家の立場から『石州三百箇条』の内容について述べた異色の[不白系]の三系統からそれぞれ底本と校合本を選び翻刻・校合。

▶A5判・658頁/本体15,500円(税別) ISBN978-4-7842-1758-8

茶の湯 恩籙抄

戸田勝久著

今日庵歴代一人ひとりについての論考「裏千家 今日庵歴代」(13篇)、茶の湯ゆかりの人物をめぐる茶の湯の精髄が語られる「茶の湯掃苔抄」(12篇)、時空を自在に行き来する「江戸東京茶の湯散歩」(深川編8篇・日本橋編16篇)の3部構成。

▶A5判・652頁/本体5,500円(税別) ISBN978-4-7842-1751-9

茶の湯 連翹抄

戸田勝久著

裏千家の茶家戸田即日庵に生れる。父は今日庵名譽教授直翁宗寬。尾張徳川家の世臣であったが、瓦解の後東京に移居して茶家となった。今日庵業跡として三代を継いでいる。教授者(茶名宗安)と併せて、茶の湯の研究に従事して、平成17年3月まで茶の湯文化学会副会長の任にあった。本書は、その業績を集大成している。

▶A5判・604頁/本体7,600円(税別) ISBN4-7842-1267-1

武野紹鷗 わびの創造

戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編

裏千家今日庵業跡であり、教授者(茶名宗安)と併せて、永年茶の湯研究に従事してきた戸田勝久先生の喜寿を記念し、武野紹鷗を基軸として、斯界の論者24人が原稿を持ち寄った論集。

【内容】第一部 紹鷗像とその茶の伝統/第二部 禅と文芸/第三部 好みとわびの表現

▶A5判・614頁/本体12,000円(税別) ISBN978-4-7842-1471-6

※茶道と恋の関係史

岩井茂樹著

恋歌と茶道の関係を茶書や茶会記に探る。茶会の掛物のほか、茶道具の銘に隠された「恋」を紹介し、なぜ恋歌が問題となり、また使われることもあったのかを明らかにする。【内容】茶書中に見られる恋への言説/恋の茶会一恋の掛物をなぜ使うのか?銘の世界一隠された恋の役割/恋とは何か?一恋歌の本意と、千家流茶道にとっての恋歌

▶A5判・232頁/本体3,800円(税別) ISBN4-7842-1313-9

公家茶道の研究

谷端昭夫著

茶道文化学術賞(主催 大日本茶道学会)

近世における「公家茶道」を取り上げ、その独自の形態、実態と特徴、茶道史における位置づけを考察し、茶が持つ文化の内実を深める。

【内容】序章 公家の茶の研究/第1章 公家茶道への序章/第2章 公家茶道への道一寛永の公家たち/第3章 公家茶道の形成/第4章 流儀化と伝授/終章 まとめにかえて/史料編「後西院御茶之湯記」

▶A5判・394頁/本体6,500円(税別) ISBN4-7842-1265-5

茶譜 [全2冊]

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書⑤

近世茶書としては最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は、利休・織部・遠州・宗和・宗旦のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし、現存する諸本と校合して全編活字化。挿図についても別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・総924頁/本体20,000円(税別) ISBN978-4-7842-1528-7

茶の医薬史 中国と日本

岩間眞知子著

もともと茶は薬であった。日中の歴代医薬書の中には茶の記事があり、そこには茶の効能や処方のほか異名・産地・製法も記され、古辞書や『茶経』『茶譜』など茶書の抜粋も収録し、非常に貴重な史料である。本書は、中国と日本の医薬書史料の影印を多数収録し、それらの史料から中国・日本の各時代における茶の様相とその歴史の変遷を明かす。

▶A5判・526頁/本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1463-1

茶の湯と音楽

岡本文吉著

茶道文化学術奨励賞(主催 大日本茶道学会)

茶の湯の美的価値観や性格は、これまで形として残されたものの考証から論じられてきた。本書では形としては残されない「音楽」という視角から、その論考を試みる。室町時代後期の草創期から江戸時代初期の千利休による大成という、茶の湯が発展・拡大へと向かう時期の文献をひもとき、「音楽」をとおしてみえる茶の湯の美意識を解明。

▶A5判・376頁/本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1606-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。